

兄弟で ヒーロー★



兄・建志さん

経験を後輩や弟に伝えて
誰もが安心して暮らせるまちに

弟・正太さん

兄のような団員になって
地域住民の生命と財産を守りたい

★第16分団第2部 部長 清國 建志さん (安岐町下原)

消防団に入って20年目になります。子どもの頃から、消防団員として地域のために頑張る父親を見てきたので、私も社会人になった時は、自然に消防団に参加しました。地元の方々とつながりも深まり、消防団に入ってよかったと思っています。

今では私も部長として、部員を育てる立場にあります。これまで何度も火災現場に出動しましたが、その出動経験と“下原魂”を後輩や弟に伝えることで、誰もが安心して暮らせるまちを築いていきたいです。

★第16分団第2部 清國 正太さん (安岐町下原)

3年前に地元の安岐町に戻り、兄と実家の会社で働いています。兄の背中を追いかけて消防団に入り、1年が経ちました。

消防団員として活動するようになり、兄の偉大さを実感しています。大きな火災現場を2回経験しましたが、部員に瞬時に的確な指示を出す兄の姿は、ヒーローそのものでした。私も兄のような、地域住民の生命・財産を守る団員になりたいです。

親子で ヒーロー★



父・勝久さん

女性消防団の娘の努力をみていると
父としてうれしい

娘・莉奈さん

女性消防団として父のように
地域のお役に立ちたい

★国東市消防団 団長 本田 勝久さん (国東町田深)

消防団は、火災や災害が起きたら、すぐに現場に駆け付けなければなりません。消防団活動を支えてくれる、家族の理解に大変感謝しています。

6年前に、市の女性消防団を組織しました。災害のとき、避難所などでの女性のケアには、女性の力が必要であると思ったからです。娘も結成当初から女性消防団に参加していますが、その努力をみていると、父としてうれしくなりますね。

★国東市女性消防団 鹿嶋 莉奈さん (武蔵町池ノ内)

父に誘われて女性消防団に参加しました。火災予防週間のときに広報活動をしたり、出初式のお手伝いをしたりしています。また、応急手当普及員の資格も取りました。

消防団活動に励む父の姿を、ずっと見てきました。家族団らんの最中でも、サイレンが鳴るとすぐに家から飛び出していくのが父です(笑)。私も、そんな父のように、消防団員として地域のお役に立ちたいです。



1月9日の消防団出初式で、市区長会長として万歳三唱を行う溝井さん。消防団員の活動を称え、感謝の言葉を述べました。



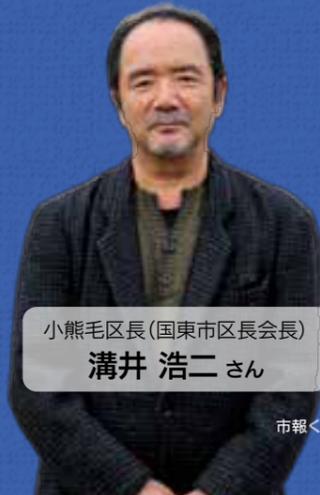
熊毛地区の第4分団第2部の機庫・詰所は、熊毛地区公民館の近くに新築中。区と消防団の連携強化が期待されています。

地域の防災力の向上において、消防団は欠かすことはできません。これからも、地元の消防団や防災士の皆さんとコミュニケーションを密にし、連携を深めて、地域住民の安心・安全の確保に努めたいと考えています。

地域の防災を考える上で、消防団はとても心強い存在です。火災や災害が起きたとき、真っ先に駆け付けてくれて、みんなを助けてくれる——。いざというときに、地域住民が頼りにしているのが消防団の皆さんなのです。

最近では、市内で大規模な災害は起きていませんが、全国では毎年のようにどこかで大きな被害が出ています。区長としても、「防災」は市民の大きな関心事であると感じています。

消防団は地域住民にとっても心強い存在



小熊毛区長(国東市区長会長)
溝井 浩二さん

地域と消防団